

大田区立池上福祉園

令和2年度事業計画

1. 運営方針

- ①利用者主体の良質なサービスをおこないます（「笑顔」・「待つ」ことを意識した支援の実践）。
- ②地域との関わりを大切にします（利用者理解の推進）。
- ③人権を常に意識し、礼儀（マナー）を重んじて行動します。

2. 職員等配置計画

職員 28名 非常勤職員 5名 嘱託医 2名 合計 35名

3. 今年度の重点目標

| 法人重点推進事項 (3) 活力ある組織・経営基盤づくり (5) 既存事業の機能強化 | | | 取組時期 |
|--|--|---|------|
| 1 | 新規事業等準備と指定管理再指定に向けた取り組み | 内容 ・事業所機能の拡充に向けた準備を通し、「地域生活支援拠点」としての機能整備 ① 生活介護の定員拡大 ② 重症心身障害者通所事業 | 通年 |
| 法人重点推進事項 (1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） | | | |
| 2 | 利用者中心のプログラムの提供と余暇・自由時間の工夫～楽しみ・やりがい・喜び～ | 内容 ・アセスメントに基づいた根拠のある支援の展開（個々の理解に合わせた対応、過ごしやすい環境の調整・道具の提供／個別支援・配慮） ・エンパワメントを引き出す工夫（待つ支援からみえてくる“利用者から表出される芽生え”と“支援者の気づき”の双方の力を活用） ・支援プログラム・活動内容等の再検討及び試行 | 通年 |
| 法人重点推進事項 (4) 地域公益活動の推進 | | | |
| 3 | 開かれた事業所づくり、地域連携 | 内容 ・地域向けイベントの企画・実施 ・地域行事・活動への参加、協力 ・地域の皆様への設備・物品の貸出 | 通年 |

4. 利用者受入計画

| | | | | | |
|--------|------|-------|--------------------|----|-----|
| 在籍 | 55名 | 新規利用者 | 1名 | 定員 | 50名 |
| 年間開所日数 | 239日 | 利用率目標 | 85.3%（昨年度比0.3%アップ） | | |

5. 年間行事計画（詳細別紙）

| | | | |
|----|---------------|-----|------------------------------|
| 4月 | 入園式 | 10月 | しょうがい者の日のつどい |
| 5月 | | 11月 | 地域ふれあいコンサート いけいけハートフルフェスタ |
| 6月 | | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 利用者歯科検診 | 1月 | 成人を祝う会 |
| 8月 | 利用者健康診断・池上まつり | 2月 | |
| 9月 | | 3月 | |

※宿泊旅行については、別途設定予定

6. 権利擁護・虐待防止の取り組み

*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|--------------|--|
| 1 | 虐待防止 権利擁護 | 「徹底した現場主義の事例検討を軸とした（寄り添う）伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」 *「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 *「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進 |
| 2 | 苦情解決 | 「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応 |
| 3 | 個人情報保護 | 「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応 |

7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画（*事業所計画）

目的：法人職員・福祉専門職としての自覚を持ち、サービスの質の向上を目指す。

*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|-----------|---|
| 1 | OJT・職場内研修 | キャリアパスを活用した職員の成長を支える取り組み OJT推進 事例検討会の実施 外部研修受講者による報告会や勉強会の実施 |
| 2 | 外部研修 | 職員の意欲とスキルアップの向上を目指した研修への参加 |
| 3 | 自己研鑽支援 | 資格取得や知識を深めるための情報の提供 |

8. 地域公益活動の推進

| | 実施項目 | 具体的内容 |
|---|-------|------------------------------|
| 1 | 地域まつり | 第19回いけいけハートフルフェスタ |
| 2 | 地域交流 | 池上DEエクササイズの計画・実施（地域共生型のポールウォ |

| | | |
|---|------|---------------------|
| | | ーキング) |
| 3 | 施設開放 | 土日祝日の施設開放 |
| 4 | 地域清掃 | 地域の清掃（ゴミ拾い）の実施（不定期） |

9、地域・関係機関連携

| | 実施項目 | 具体的内容 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化 | 関係者会議の参加 24時間365日の生活支援のためのネットワークの構築 他事業所との交流活動 |
| 2 | 地域交流・連携 | ユニバーサル駅伝・納涼祭・池上まつり（池上まちおこしの会）・地域ふれあいコンサート（青少対）・スポGOMI大会・笑いヨガ（民生委員）・地域花壇の水やり（なでしこの会） |
| 3 | 福祉人材受入 | 社会福祉士実習、介護等体験、職場体験の受入れ |
| 4 | 広報活動等 | 園だより発行、ホームページの発行、池上まちおこしの会の「池上土産」として作業で製作した梅皿を販売 |

10、法令遵守に関する取り組み

*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|--------------|--|
| 1 | 法令遵守 | 法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応 |
| 2 | 「働きやすい職場」づくり | 福祉サービス第三者評価を受審、活用 「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携 |

11、危機管理計画

| | 実施項目 | 具体的取組 |
|---|-----------|-------------------------------------|
| 1 | 事業継続（BCP） | 事業継続（BCP）に関する事項の整備 |
| 2 | 防災関連 | 定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練 地域防災訓練に参加 |
| 3 | 緊急時対応 | 「緊急時対応マニュアル」により対応 |

12、その他

○平成29年度 第三者評価受審結果よりさらなる改善が望まれる点への取組

| | |
|-------|--|
| タイトル1 | 職員の入れ替えが多く、利用者への支援や業務の引継ぎが連携せず、ミスの要因になっている為に業務手順の再構築に期待する。 |
| 取組内容 | 記録やマニュアルの整備・活用について継続して取り組む。OJTの |

| | |
|-------|--|
| | 仕組みや体制の再検討と工夫。 |
| タイトル2 | 事業活動で最も重要な核となる理念と方針について、明確な明示と周知の取り組みの強化が望まれる。 |
| 取組内容 | 法人理念、運営方針の園内掲示と職員会議等での確認。理念・方針と日常業務の繋がりが持てるような方法の実践。 |
| タイトル3 | ヒヤリ・ハットが多くあり改善に向けて検討する事が望まれる。 |
| 取組内容 | ヒヤリ・ハットについては事故に至らなかった事例として、“気づきの視点”と捉え共有。繰り返される事例について、内容の理解を深めるための事例検討をおこない、共通認識から導き出される支援を実践。 |

別紙添付 令和2年度年間計画